

生月島山田に伝わるお掛け絵  
『セビリヤの聖母』



シンポジウム

# キリシタンと日本

十六世紀、遙かな波濤を越えて伝えられた  
キリシタン信仰は、日本人に何をもたらしたのか。

今もキリシタンの祈り〔オラシヨ〕が継承される島で  
さまざまな分野でキリシタンを研究する 第一人者たちが その謎を追う。



生月島山田に伝わるメダイ  
『福者フランシスコ・ザビエル』

日時 | 令和4年11月6日(日)  
12時30分受付開始 13時00分~17時10分予定  
場所 | 平戸市生月町離島開発総合センター  
長崎県平戸市生月町里免1610番地  
入場 | 無料 ※事前のご予約をお願いします。  
申込先 | TEL 0950-53-3000 FAX 0950-53-3032 (島の館)

〔主催〕長崎県、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会  
〔共催〕平戸市、平戸市教育委員会、(一財)平戸市振興公社  
〔後援〕「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」長崎県世界遺産保存活用県民会議、  
長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、  
NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、  
NIB長崎国際テレビ、エフエム長崎  
〔協賛〕安満の里春日講、生月ボランティアガイド協会

シンポジウム内容及びご予約、お申込みについては、裏面をご覧ください。



世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」登録4周年記念  
令和4年度文化庁文化芸術振興費補助金(地域文化財総合活用推進事業)



シンポジウム

# キリシタンと日本

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」  
世界文化遺産 平戸の聖地と集落「中江ノ島」  
かくれキリシタン信者からは「サン・ジュワン様」と呼ばれる  
聖地で「お水取り」が行われる。  
1622年・24年にキリシタン信者が処刑された。



岡 美穂子 (おか みほこ)

東京大学史料編纂所/大学院情報学環兼任准教授  
16・17世紀の日本の対外関係史とキリシタン史を研究。  
主な著書に『商人と宣教師 南蛮貿易の世界』（東京大学出版会、2010）、編共著に『大航海時代の日本人奴隷』（中央公論新社、2017）等



大橋 幸泰 (おおはし ゆきひろ)

早稲田大学教育・総合科学学術院教授  
日本近世史、特に宗教と国家・社会、キリシタン、隠し念仏等を研究。  
主な著書に『潜伏キリシタン 江戸時代の禁教政策と民衆』（講談社、2014/同学術文庫、2019）、『近世潜伏宗教論—キリシタンと隠し念仏』（校倉書房、2017）等

後藤 晃一 (ごとう こういち)

大分県立埋蔵文化財センター副所長兼課長  
キリシタン考古学を専門とし大友宗麟関連遺跡の発掘等に携わる。  
主な著書に『キリシタン遺物の考古学的研究—布教期におけるキリシタン遺物流入のプロセス—』（溪水社、2015）、共著に『キリシタン大名の考古学』（思文閣出版、2009）等



中園 成生 (なかぞの しげお)

平戸市生月町博物館・島の館学芸員  
キリシタン・かくれキリシタン信仰、漁業史（捕鯨）、民俗などを研究。  
主な著書に（共著）『鯨取り絵物語』（弦書房、2009）、『かくれキリシタンとは何か』（弦書房、2015）、『かくれキリシタンの起源』（弦書房、2018）、『日本捕鯨史概説』（古小鳥社、2019）等



## 【シンポジウム】

- ① 生月島壺部の唄オラシヨ「らおだて」「なじょう」「ぐるりよーざ」
- ② 長崎県キリシタン信仰用具調査の概要と成果
- ③ 趣旨説明・現地報告「かくれキリシタン信仰からみたキリシタン信仰」
- ④ 報 告 「ルイス・デ・アルメイダの旅と生涯」  
「キリシタンと治者・被治者」（仮）  
「考古学からみた キリシタン信心具」（仮）
- ⑤ パネルディスカッション
- ⑥ 生月島山田の唄オラシヨ「うぐるりや」「サンジュワン様の唄」「ダンジク様の唄」

壺部かくれキリシタン信者  
長崎県担当者  
中園 成生  
岡 美穂子  
大橋 幸泰  
後藤 晃一  
山田かくれキリシタン信者

## 【関連事業】

### ◎ 企画展

「かくれキリシタンから窺い見たキリシタン信仰」  
10/8-12/4 平戸市生月町博物館・島の館 企画展示室

### ◎ 特別展示

「タイ・メナムノイ窯産四耳壺（16世紀）」  
10/8-12/4 春日集落案内所「かたりな」



入場の際は、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください。

## 《申し込み用紙》

日程、会場変更の場合は連絡しますので  
連絡先は必ずご記入ください

※部分は必ずご記入ください。受付が完了できない場合がございます。

※ ふりがな 名前	
※ 住所	※ 日中にご連絡が取れる連絡先をご記入ください。 電話
e-mailアドレスをお持ちの方はご記入ください。 E-mail	ファックスをお持ちの方はご記入ください。 FAX

### お申込み・お問い合わせ

平戸市生月町博物館・島の館

TEL 0950-53-3000 FAX 0950-53-3032

E-mail shimanoyakata@hira-shin.jp

（お申し込み方法）申し込み用紙に記載の上、上記ファックスまたは島の館お問い合わせメールにてお申し込みください。  
FAX、e-mailアドレスをおもちでない方は、お電話にてのお申込みも可能ですが、お電話が込み合う場合がありますのでご了承ください。  
お電話での受付時間は9：00～16：30となっています。事前にご氏名、ご住所、ご連絡先をご用意の上ご連絡ください。



島の館HP

※申し込み用紙の情報は、今回のシンポジウムの視聴者整理以外の目的には用いません。  
新型コロナウイルス感染症拡大の状況により内容等を変更する場合がございます。